

1. 単元名（教材名）

「つながる読書 / つなげる読書」・「わかりやすく話す 1分間スピーチ / ショウ・アンド・テル」
（「話し方入門 - ショウ・アンド・テル」教育出版『伝え合う言葉1』）

2. 単元の目標

日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理することについて

読書経験を通じて資料の収集や話題の焦点化を読書経験を通じて行ったり、無意識に行っていたことを意識しながら取り組むことを通して

興味の幅を広げたり深めたりすると共に、相手意識や場への意識などコミュニケーションに関わる事柄を意識し、印象批評の段階から根拠を明確にする姿勢につなげることができる。

特に本単元は学習指導要領の第1学年の目標における

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

について具体的にしたものである。また、「読むこと」の言語活動例「ウ課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。」についても同様である。

3. 単元の構想（全5時間）

第一次（1時間目【本時】、夏休みの課題）

きっかけとなる本を探し、自分の興味の対象を具体化して捉える。

- ・分類法について学ぶことを通し、本の配置と関連性について意識する。
- ・書誌情報について確認し、資料に適切な使い方を確認する。
- ・目次や参考文献に目を向け、「次の本」の探し方を知る。
- ・自分の一番興味がわいたことについて「リライト」することを通して、情報の取捨選択から話題の焦点化を行い、相手意識につなげる。
- ・情報収集の方法について実践することを通して、活用する力につなげる。

第二次（2・3時間目）

コミュニケーションに関わる事項を整理することで、場や相手意識ということについて目を向ける。「無意識の意識化」について取り組む。

- ・「わかりやすさ」について、“自分のかんがえるもの”“辞書的な定義”を踏まえた上で、それに影響を与える事柄について整理する

1. 観点・視点

2. 相手意識（関係性）

3. 情報がひらかれる場

4. 情報の取捨選択

3/4 に関わり、主観的判断 / 客観的判断

抽象的なものを自分の事柄に置き換えながら考えることを通して、自己の課題を明確にする。

- ・「わかりやすさ」とコミュニケーションに関する事柄をもとに、それらが具体的にどのようなことにつながるのか考え、課題設定につなげる。
- ・「スピーチ」の特徴、「本の紹介」について、それを構成する要素をピラミッドチャートを用いて考え、関連づけられる部分を考えることで、スピーチの内容の検討につなげる。

第 3 次 (4 ・ 5 時間目)

スピーチを発表し、振りかえりを行うことでうまくいった点とともに課題を明確にすることで、今後の言語生活に結びつける。

- ・限られた時間の中で自分の考えを伝えるために、「話し方」や内容の工夫をする。
- ・話を聞きながら、相手の意図や話題の中心をくみ取りながら聞く。

4 . 本時の学習

(1) 本時の目標

きっかけとなる一冊を探すことを通して、資料収集の際の視点について考える。
書誌情報や資料の適切な活用の方法について理解する。

(2) 学習の展開【 : 生徒 (反応) : 教師 (支援 ・ 発問) 】

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5	* 学習課題の確認	プリントを確認しながら、本時の取り組みについてきっかけを得る。	* 本単元の前に「動物の睡眠と暮らし」の授業を行っている。その際、自然科学に分類される話や本を紹介しながら、そのような本の読書を意識付けると共に、本時の取り組みを予告した。 * プリント 4 種類
展開 35 (15 分 + 20 分)	* 「リライト」の今回の定義 * 本文とタイトルの関係 * 書誌情報と奥付 * 自然科学の本を読む	* プリントをもとに、教師の説明を聞き、今回の活動の目的を理解する。 -1 4 類自然科学の本を読み、「リライトする」ということの条件を確認する。 -2 教師の説明からタイトルの役割を確認し、本文との関連性・位置づけを考える。 -3 今回の取り組みからスピーチへのつながりの説明を聞き、課題に取り組む際の参考にする。 書誌情報の内容、奥付について振り返り、適切な活用につなげる。 [学校司書] -1 科学の本を読むことにつ	* "写す"ことやあらすじを書くのではないことを確認する。 * 引用の方法について紹介し、特に特徴的な表現など「リライト」と関連させ、筆者の意見に目を向けるきっかけにもする。 * 本文そのものは 200 字程度。そのため、それを補い、自分の興味が明確になるような効果的なタイトルについて意識づける。 * 引用とともに、参考文献等の適切な取り扱いについて注意を促す。内容については、図書館の掲示を活用した上で、実際に本を手にした際には全員で奥付を確認する。また、今回は辞典類や共著の場合についても紹介する。 * 「理科読」の本をき

	<p>むことについて</p> <p>* 4類の本について</p> <p>* 書誌情報と本の選択に関わるもの</p> <p>* 本の比較・選択</p>	<p>いて、「科学」の知識と自分の生活との結びつきについて考える。</p> <p>-2 4月のオリエンテーションをもとに、どのようなものが対象となるのか確認し、学校図書館での配置を確かめる。</p> <p>-3 本の選択について挙げられた項目から、自分の本の選択の方法・選択</p> <p>実際に本を探し、読み比べてみる。</p>	<p>かけに、身近な事例を挙げる。科学の本を"今"読むことの意味を紹介する。</p> <p>* 4月の"類"についての内容をもとに、"綱"や"目"について触れながら、自然科学4類の対象を確認する。 * 棚の位置や本時に別置した本を紹介し次の活動につなげる。</p> <p>* プリントの内容の確認 * 様々な本を手にとってみることで、自分が読めそうなものを選ぶことが重要（沢山のものから選ぶこと、選択する力が重要）</p> <p>* 分類番号、バーコード番号も記入することを伝える。（後ほど処理する）</p> <p>* 4類の本ということを確認。4類の確認の方法について確かめる。</p> <p>* 本の比較、とりあえず様々な本に目を通すことを促す。</p> <p>* テーマが決まらない場合、分類を定めてから探す方法も紹介する。</p> <p>* 文庫にも4類があることを紹介し、選択の幅を広げる。</p> <p>* 高い所にある本を取るとき、安全面への配慮</p> <p>* 本が定まってきた生徒が増えた段階で、「全体をまとめる」のではないことを改めて確認する。</p>
<p>まとめ 10</p>	<p>* 選択した理由</p> <p>* 「次の本」について</p>	<p>選んだ理由をワークシートに記入し、振り返る。</p> <p>「つなげる読書」についての説明を聞き、内容を確認する。本の探し方について具体的なイメージを持つ。</p>	<p>* 活動中の会話などを本に、どのようなものがみられらか提示する。</p> <p>* 選んだ本をもとに、新たな本の探す課題を示す。検索の方法について紹介する。[学校司書]</p>